

## 日本気象学会第11期役員改選の結果

本日開票の結果、総投票数、各会員の得票数は下記の通りです。

### 1. 常任理事

投票総数 765票      有効投票 749票

	総得票数	地方別得票数						その他*
		北海道	東北	関東	関西	九州		
当選 有住 直介	699	46	71	276	218	80	8	
〃 島山 久尙	691	49	72	264	217	81	8	
〃 正野 重方	677	48	67	260	214	80	8	
〃 岸保勘三郎	676	45	76	258	214	77	6	
〃 今井 一郎	665	44	75	258	204	76	8	
〃 吉武 素二	665	44	67	268	206	73	7	
〃 神山 恵三	654	43	70	250	207	76	8	
〃 淵 秀隆	652	44	69	253	198	80	8	
〃 根本 順吉	642	41	65	249	213	68	6	
〃 磯野 謙治	604	46	59	245	178	71	5	
〃 松本 誠一	530	32	57	200	179	58	4	
〃 桜庭 信一	521	29	64	181	170	70	7	
〃 和達 清夫	509	26	60	174	173	69	7	
次点 藤田 敏夫	455	28	50	180	155	39	3	
〃 吉野 正敏	384	30	38	158	112	42	4	

### 2. 地方理事

#### 〔北海道地区〕

投票総数 51票      有効投票 40票  
 当選 山岡 保 25票  
 次点 なし

#### 〔東北地区〕

投票総数 81票      有効投票 42票  
 当選 内海徳太郎 19票  
 次点 なし

#### 〔関東地区〕

投票総数 292票      有効総数 292票  
 当選 藤田 兼吉 262票  
 〃 堀内 剛二 246票  
 次点 なし

#### 〔関西地区〕

投票総数 234票      有効投票 229票  
 当選 西本 清吉 179票  
 〃 大谷 東平 116票  
 次点 なし

#### 〔九州地区〕

投票総数 85票      有効投票 81票  
 当選 倉石 六郎 78票  
 次点 なし

### 3. 監事

投票総数 765票      有効投票 749票

	総得票数	地方別得票数						その他*
		北海道	東北	関東	関西	九州		
当選 高橋浩一郎	691	48	74	267	218	77	7	
〃 増田 善信	648	42	74	253	200	75	4	
次点 なし								

#### \*注

- 地方別得票数欄の中で「その他」は、昭和35年3月1日現在の所属地方区に該当しなかった投票です。これらの投票は常任理事及び監事の票については有効としました。
- 上記の結果は、定款細則6条により役員に就任する資格を持った会員名及び得票数のみです。  
昭和35年5月18日

日本気象学会選挙管理委員会

(186頁からつづく) この理由を書いたものは見ないが、私の想像では、that は典型的な関係代名詞なので、その後に名詞または代名詞だけを置くということができないためだと思う。とにかく後の文の述部を省略する場合には、同一物でも同一種類でもいつでも as を使うわけである。次に一例をあげる。

In a critical review of the electric field theory Chapman (1952) writes that the field in the beam cannot be more than  $10^{-6}$  gauss. This value is obtained under the assumption that the field in the beam is **the same as** the solar dipole field at the distance of the earth. (H. Alfvén) (次号につづく)